

製品名: TLS/FUS ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86791**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:53 kDa; Observed MW:70 kDa

抗原情報

遺伝子名	TLS/FUS
別名	TLS; ALS6; ETM4; FUS1; POMP75; HNRNPP2
遺伝子 ID	2521
SwissProt ID	P35637
免疫原	ヒト TLS/FUS の合成ペプチド

背景

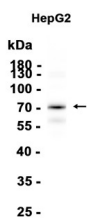
この遺伝子は、異種核リボ核タンパク質（hnRNP）複合体の多機能タンパク質成分をコードしています。hnRNP 複合体は、pre-

mRNA スプライシングと、完全に処理された mRNA の細胞質への輸送に関与しています。このタンパク質は、RNA 結合タンパク質の FET ファミリーに属し、遺伝子発現の調節、ゲノム完全性の維持、mRNA/マイクロ RNA のプロセッシングなどの細胞プロセスに関与することが示唆されています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。この遺伝子の欠陥は、筋萎縮性側索硬化症 6 型を引き起こします。[RefSeq 提供、2009 年 9 月]

研究分野

-

画像データ



TLS/FUS ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して HepG2 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。